

# 会報だより

## 四国霊場

### 逆打ちに挑戦

うるう年の今年、沢山の旅行会社が四国霊場八十八か所の「逆打ち」と称して、プランをうちあげました。つまり 88 番札所から逆回りです。



88ヶ所結願の霊場「大窪寺」

分の 1 のお寺をお参りしました。月 1 回の日帰りも 4 回目から 1 泊や 2 泊の企画での 12 回コースで、来年 3 月まで続きます。毎回それぞれのお寺の寺歴を聞いて、日本の庶民文化に感心します。また同じバスで同行される人々を垣間見る事で、人生歴の重みも感じます。あるご婦人は 12 回目の巡礼、その中の 3 回は逆打ち、巡礼のきっかけは心痛事があったとか。また脳梗塞の後遺症かと思われるご主人を当たり前のよう支える奥様もおられます。反対に同窓会気分の女性グループには子育てや家事からの解放感を感じられるのは何処にもみられる様です。

最近、歩いて四国霊場八十八か所巡りをする方はすっかり少なくなりまして。しっかり旅行者に乗せられているのかもしれない。年間巡礼者は 20 万人

一番札所から巡る一般的な「順打ち」より功德が三倍以上といういわれがあるそうです。私は二年あまり掛かった熊野古道歩きを終え、次の目標を探していたところでしたので、すぐに乗り換えました。私のように大きいが利益を求めればかりではないでしょうが、高槻発のバスツアーの一台 4 席は常に満席です。般若心経も碌に唱えられず、作法ももたもたしていますが一週一回りしている友人に助けられ、やっと 4 回、約 4



大窪寺の守り神「太三郎權」アニメ平成親合戦ばんぼこ

千億円の経済効果があると

言われているそうです。私もその一人です。信仰心も体力もほどほどですが、熊野古道と同様、自分への挑戦と思いい、次回のコースを楽しみに頑張ります。「観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五・・・・」何度練習してもだめです。

## 会報だより

牧戸さんからのお手紙を紹介します。



牧戸さんは7月12日高槻市富田から大阪市内に転居されました。

### 第一報

(平成 28 年 7 月 12 日より) 新居への第一便ありがとうございます。

引っ越しの節は、皆様にはほんとうにいろいろお世話になりました。ありがとうございます。

すぐお便りもさし上げず申し訳ございません。ご心配いただいていたように、心身ともに疲れしました。

寝込むほどではありませんが、自分でしないといけないことが山積しているのになかなか捗らず、ついつい伸び伸びになり失礼致しました。まだ電話がつかず、パソコンも弟が起動はしてくれましたが、今までとずいぶん違って馴れるのに時間を要しそうです。

こちらの生活には少しづつ馴れてきて、まあこれからは暮らして行けるかなあと思っています。

何より食べ物も全く今までと違うので少々辛い面もあります。二、三日前から

お昼だけ自分で作ることにしましたが、台所も狭く思うにまかせません。

たくさんの荷物の整理に悪戦苦闘しております。捨てるつもりのもを持って来ていたり、捨てたものを、持って来たらよかったです。

こちらにきて足の調子が今一つで、追々何とかなるだろうと思っはいます。が、気持ちの落ち着きと両方、以前に戻るのにちよつと時間がかかりそうです。

生活が落ち着いて新しく文章を作るまでもう少しお待ちくださいませ。

お世話になったみな様ともゆつくりお会いしたいと思っはいます。

### 第二報

(平成 28 年 8 月 12 日より) 生活の方は大分馴れてきました。食事もお昼だけ自炊しています。やはり、食事が、今までと全く違うので、三食作りたいのですが、何しろ殆ど置く場所がなく、諦めざるを得ません。この食事は想像していたよりは、美味しいと思っはいます。塩分が少なく、たんぱく質のものも非常に少ないので、健康的にはいいかもしれませんが、ややもの足りなく時々外食しています。

さてパソコンの方ですが、弟がいろいろ工夫して変えてくれたのですが、以前と違うところが多く使いこなせません。私自身も根気がなくてちよつと出来ないうとすぐ投げ出してしまつて、なかなか出来ません。以前のよう活用するまで時間がかりそうです。申し訳ございません。

転居の挨拶状を電話がついてからと考えていたら、こんなに遅くなるなんて思っはませんでしたので申し訳なく思っはいます。

まだまだ暑さが厳しいのでお大事にして下さいませ。

牧戸さんからは、新しい連絡も頂いています。次号から連載致します。

## 四季彩



英名 イーグレット・フラワー  
Eargret Flower = 白小鷺

### サギソウ(鷺草)

夏に花茎を長く伸ばし、名前の通り鷺(サギ)が羽を広げたような姿の純白の花を写真に撮りたくて冬の終わりから球根を植えて育てました。期待通り美しい姿を見せてくれました。ラシ科ですので花びら 3 枚、1 枚は左右に広げる翼とその真ん中のボディに見える部分、残り 2 枚は後ろに直角に立つ小さい 2 弁、その周りに 3 枚の小さな緑の罟(がく)。原産地を日本とし、本来は湿地に自生する野生ランであったが、乱獲や生育環境変化により減少し、準絶滅危惧種に指定され、栽培種になりました。新聞に大阪市中のある神社が 20 年で二千株を超えるまで増やし、参拝者に楽しんでもらっているところもある。私も増やせるよう努力します。記・上村サト子